

全体	No.26
個別	006-01

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬しいたけ再生プラン総合対策支援事業
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しいたけの生産拡大を目指します。 ○効率的なしいたけ生産に向けて支援します。 ○対馬しいたけの需要拡大を図ります。 ○原木しいたけ生産者の指導の下、後継者の育成を図ります。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しいたけ生産新規参入者：7名 しいたけ選別作業員：6名 ○しいたけ原木搬出路：26km（再生プランに基づき、長崎県が担う） ○しいたけ乾燥機リース導入：13台 ○簡易散水施設：30基
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ○しいたけ生産新規参入者：7名 しいたけ選別作業員：14名 ○しいたけ原木搬出路：0km（長崎県の生産者への事業制度の周知不足） ○しいたけ乾燥機リース導入：3台 ○簡易散水施設：36基
	3. 評 価	△
		<p>しいたけ生産量、生産額ともに前年を下回りました。原発事故によるセシウム風評被害により、西日本産のしいたけ価格まで影響し、販売価格が生産価格を大きく下回るなど、消費者のしいたけ離れが進んだことが大きな要因となりました。国の緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用し、若者・女性の担い手は増えつつも、単価暴落に対する対応策をとることができませんでした。しかし、全国乾椎茸品評会では林野庁長官賞を3名が受賞し、団体の部では全国準優勝に輝きました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>第3次しいたけ振興計画「対馬椎茸”やる倍”ナバダス計画」では、生産体制の充実を図ることはもとより、流通体制まで大きく踏み込んだ計画を策定しました。安全安心なしいたけの新規販路開拓・消費拡大に向けて、関係機関一丸となって取り組みます。</p>

全体	No. 27
個別	006-02

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	対馬市森林づくり基本計画、対馬市伐採ガイドラインの策定
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	対馬市森林づくり基本計画を策定します。 対馬市伐採ガイドラインを策定します。 上記2つの計画、指針の進捗管理を対馬市森林づくり委員会にて行います。
	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくり基本計画：平成25年度上半期 ・対馬市伐採ガイドライン：平成25年度上半期 ・林業事業者との意見交換会：1回 ・計画策定及び進捗管理のための委員会の開催：4回
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくり基本計画：平成25年度9月策定 ・対馬市伐採ガイドライン：平成25年度9月策定 ・林業事業者との意見交換会：上地区・下地区で各1回 ・計画策定及び進捗管理のための委員会の開催：3回 ・年度最後の委員会において、平成26年度の事業を選定
	3. 評 価	○
		森林づくり基本計画・対馬市伐採ガイドラインともに原案は、上半期に出来上がっていましたが、市民へのパブリックコメントを募集したり、林業関係者との意見交換会を行ったりで最終的な修正等をした結果、策定が9月となりました。しかしながら、1年半ほどの期間を要して作成したもので、良いものが出来上がりました。
	4. 今 後 の 展 開	
		自らが基本計画・ガイドラインに則って森林整備や環境保全に努めるとともに業者や個人が行う施業についても森林計画や伐採届け等の提出により、わかり得る限りの指導を行っていきます。また、現地調査も厳密に行っていきます。なお、森林づくり委員会を年3回程度開催して事業の進捗状況の評価や次年度に向けての助言をいただきながら計画を立案していきます。

全体	No.28
個別	006-03

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	1. 組織目標	
	【 内 容 】	国・県等の補助制度等の活用による間伐事業を現状の森林状況に沿った計画的な間伐を進めます。 なお、J-VER制度については、平成24年度までにクレジット発行まで出来たことからクレジットの売買を加速させます。
	【 指 標 】	
	【市有林整備】	①森林整備面積：18ha（利用間伐）②路網整備：L=4,000m
	【J-VER制度関係】	①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（3回） ②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円）③新規契約件数：3件
	2. 実績（成果）	
		<p>施業実施面積：利用間伐 面積（16.31ha） 材積（44m³） 路網整備：3,175m</p> <p>【J-VER関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●追加認証：平成24年度間伐分(14.81ha)をクレジット化 ●クレジット発行量：平成25年度352t-CO2 総量1,522t-CO2 ●クレジット売買の為の企業訪問及びイベント参加：7回 ●クレジット販売額：59t-CO2（収入金：600,600円） ●売買契約数：6件（うち新規顧客1件） ●クレジット残量：1,450t-CO2（うち100t-CO2は、5年契約済み）
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ●間伐面積は、1.69ha減で素材生産量が減りましたが、素材の質がよく売り払い価格は、昨年度より3万円高く732万円の収入があり、森・川・里・海環境保全再生基金に充当することが出来ました。 ●追加認証で352t-CO2をクレジット化することが出来たことで、より広範囲な販売促進を行うことが出来るようになりました。 ●クレジット販売について、新規顧客は1件にとどまりましたが、年間25t-CO2の5年契約を結ぶことが出来ました。
	4. 今後の展開	
		森林の有する諸機能を高度に発揮させるために、適正な森林施業を実施し、健全な森林資源の維持増進を図ります。また、J-VER関係においてはクレジット販売を強化するため、引き続き全国イベントへの参加や埼玉県制度への本格参画のため、埼玉県内の目標未達成事業所への売り込みを開始します。

全体	No.29
個別	006-04

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	農林産物の鳥獣被害防止及び居住区域内における生活安全対策確立
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	対馬市鳥獣防止計画に基づき被害対策を図ります。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地用防護柵の整備 ・ 既存農地用防護柵の機能強化 ・ 地域ぐるみでの捕獲組織構築 ・ 居住区域内における生活安全対策の確立 ・ 家庭菜園等の防護対策支援
	【 指 標 】	防護柵の設置 L=83,632m
		平成25年度被害金額及び面積（目標） イノシシ：23,936千円、31.8ha
	2. 実 績（成果）	
		防護柵の設置（ワイヤーメッシュ柵購入） L=100,272m（内しいたけほだ場用ワイヤーメッシュ柵16,640m） 既存農地用防護柵の機能向上資材設置（18地区設置） 居住区域内安全対策事業（集落周囲全体を防護柵で取り囲む） 6地区 家庭菜園用防護柵 22件 平成25年度被害額及び面積 イノシシ：12,621千円、8.36ha（対前年度比37%）
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度の被害（イノシシ：34,194千円、45.39ha）の影響を受けて、各種防護柵整備事業を実施し、その成果として被害面積、被害額が減少しています。 また、対馬猪鹿活用促進事業において、既存防護柵の位置を地図上に可視化し、地域主体の被害対策に向けた基礎資料作成に取り組む事ができました。
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>対馬猪鹿活用促進事業で、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状把握をさらに進め、要請があった地区には直接出向き、地域住民に情報をフィードバックします。ただし対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹します。（行政依存体質の脱却）</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、事業メニューが多数あり、市民の理解度が低い事から、期間を定めて「イノシシ・シカに関する対策相談」等を個別に開催し、農業振興と被害対策についての正確な情報提供に努めます。※対馬振興局農業振興普及課による農業指導も同時開催計画中。</p> <p>また、農林業従事者、有害鳥獣捕獲従事者、行政担当等でワークショップを開催し、農林業振興と有害鳥獣問題を横断的、多面的に話し合い問題解決に向けた意見の集約を実施します。さらには有害鳥獣対策に多くの市民が関わるためのきっかけに皮革製品や食肉加工品等、利活用の普及啓発活動を行います。</p>

全体	No.30
個別	006-05

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業																					
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 各学校給食調理場が納入した、地場産品（対馬産）について、月毎に1/2（対馬生まれのあか牛の場合は3/4）の助成を実施します。</p> <p>【 指 標 】 農林水産物の需給システムを構築します。</p> <p>【 達 成 年 度 】 平成26年度 学校給食に地場産品を使用する割合</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ミニトマト</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">アスパラガス</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">さつまいも</td> <td style="text-align: right;">80%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">しいたけ</td> <td style="text-align: right;">100%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">米</td> <td style="text-align: right;">50%</td> </tr> </table>	主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	30%	ミニトマト	80%	アスパラガス	80%	さつまいも	80%	しいたけ	100%	米	50%									
主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	30%																						
ミニトマト	80%																						
アスパラガス	80%																						
さつまいも	80%																						
しいたけ	100%																						
米	50%																						
	2. 実 績 (成 果)	<p>特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行いました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 10%; text-align: center;">H25</th> <th style="width: 10%; text-align: center;">H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比</td> <td style="text-align: center;">28%</td> <td style="text-align: center;">25%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ミニトマト</td> <td style="text-align: center;">83%</td> <td style="text-align: center;">71%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">アスパラガス</td> <td style="text-align: center;">52%</td> <td style="text-align: center;">59%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">さつまいも</td> <td style="text-align: center;">48%</td> <td style="text-align: center;">69%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">しいたけ</td> <td style="text-align: center;">99%</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">米</td> <td style="text-align: center;">42%</td> <td style="text-align: center;">45%</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H24	主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	28%	25%	ミニトマト	83%	71%	アスパラガス	52%	59%	さつまいも	48%	69%	しいたけ	99%	100%	米	42%	45%
	H25	H24																					
主要4品目(馬鈴薯、人参、玉葱、きゅうり)：重量比	28%	25%																					
ミニトマト	83%	71%																					
アスパラガス	52%	59%																					
さつまいも	48%	69%																					
しいたけ	99%	100%																					
米	42%	45%																					
	3. 評 価	△																					
		<p>対前年比において、アスパラガス、さつまいもなど使用割合が低下したものもありますが、主要4品目の実績があがりました。</p>																					
	4. 今 後 の 展 開	<p>受給システムの構築及び地産地消の推進を図り、目標達成に向け、取り組みます。</p>																					

全体	No.3 1
個別	006-06

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「海洋保護区の設定」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬沿岸の海洋生態系の保全を重点課題とし、水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るための対象となる空間である「海洋保護区」の設定を目指します。 <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○科学委員会はチーム毎に検討課題を分担し、データや分析等の整理をします。各チームからのまとめから報告書を作成します。 ○設定推進協議会は、報告書の確認と、答申を受けて今後の方針を整理します。 ○設定推進協議会1回、専門委員会3回、科学委員会3回、戦略会議1回開催予定
	2. 実 績 (成 果)	<ul style="list-style-type: none"> ○設定推進協議会1回開催。（専門委員会・科学委員会との合同開催） ○専門委員会2回開催。（うち1回は専門員会・科学委員会との合同開催） ○科学委員会3回開催。（うち1回は設定推進協議会・専門委員会との合同開催） ○科学委員会からの報告書提出による設定推進協議会への答申。
	3. 評 価	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・科学委員会は、各チームのテーマごとにまとめた報告書の提出による答申はありましたが、報告書の印刷製本には至りませんでした。
	4. 今 後 の 展 開	<p>設定推進協議会が答申内容の確認をして、今後の方針を整理していき、対馬市海洋保護区の立案に向けて進めていきます。</p>

全体	No.32
個別	006-07

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「対馬食通祭の開催」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・地産地消の拡大及び対馬産の需要度を高めるために対馬市産物消費拡大推進事業を（対馬食通祭）展開します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○3ヶ月間のイベントを実施。期間中はオープニング、中間、エンディング、期間中の4つのイベントを開催します。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>1 島内でのイベント</p> <p>① オープニングイベント 11月9日(土) 会場：厳原 参加のべ人数800人</p> <p>② 中間イベント 12月14日(土) 会場：厳原 参加のべ人数300人</p> <p>③ 中間イベント 12月15日(日) 会場：上対馬 参加のべ人数250人</p> <p>④ エンディングイベント 1月26日(日) 会場：美津島 参加のべ人数600人</p> <p>⑤ 期間中のイベント 11月9日(土)から1月26日(日) 参加のべ人数9,125人 期間中、島内45店舗で対馬の食材を使用した料理を食べた方(1,000円以上)にビンゴカードを配布。配布枚数9,125枚(ビンゴ大会を②～④のイベント時に併せて開催)</p> <p>2 島外でのイベント</p> <p>① よりあい処つしまでのイベント 11月22日 会場：福岡市 参加のべ人数100人</p> <p>② NTT西日本対馬食材フェア 11月27日 会場：福岡市 参加のべ人数150人</p>
	3. 評 価	○
		<p>延べ1万1千人の方に対馬の農水産物の魅力を広めることができ、消費拡大の促進と対馬産地名度の向上へと起因する事業を行うことができました。また、初年度事業の目的である提供する側と食べる側の双方ともに、改めて対馬産に対する認識を深めることができ、「メイドイン対馬」の情報発信を効果的に行えました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>対馬食通祭のイベントを通じ、生産者と提供する店舗が島内全の一つの行事として対馬の産物を一体となって売り込み、その姿、姿勢を島外にPRすることで、島の魅力を発信します。</p> <p>また、島内店舗の協力体制の拡大及び旬な食材が島内店舗のどこでも食べることが出来る島内流通の確立など、地産地消を行う上で必要不可欠となる体制を整えるため、引き続き対馬食通祭を実施し、対馬産の浸透を図っていきます。</p>

全体	No.33
個別	006-08

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「魚礁設置」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。近場の漁場を整備することにより漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えることができます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○魚礁13,500空³m³(上対馬2箇所・佐須奈2箇所：6,000空³m³、琴・芦見・田ノ浜・小網1・2：7,500空³m³)</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>○上対馬1工区(豊地先)1,421空³m³</p> <p>○上対馬2工区(網代地先)1,532空³m³</p> <p>○佐須奈1工区(佐護地先655空³m³【製作のみ】)</p> <p>○佐須奈2工区(佐護地先)1,580空³m³</p>
	3. 評 価	△
		<p>・平成24年度繰越事業分は実施しましたが、平成25年度事業については、測量試験を実施し、平成26年度実施へと繋げていきます。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>平成26年度は、平成25年度繰越事業分と平成26年度事業分を完了できるように取り組みます。</p>

全体	No.34
個別	006-09

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 振 興 課
-----	-----------

No.	項 目	「水産物の輸送費補助」
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】</p> <p>・水産物を島外へ出荷する祭の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>○142万箱分に対して支援を行います。</p>
	2. 実 績 (成 果)	<p>○181万5千箱分に対しての支援を実施しました。</p>
	3. 評 価	<p style="text-align: center;">◎</p> <p>・目標142万箱分に対して181万5千箱分、約28%分の増加となり、漁業者の負担軽減に努めました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>平成26年度は、平成25年度分以上の実績を見込んでいます。</p>

全体	No.35
個別	006-10

平成25年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
	1. 組 織 目 標	<p>【 内 容 】 公共工事の早期発注、早期完成を図るため、12月末まで設計を完了します。</p> <p>【 指 標 】 平成25年末完了予定額 100%目標 (1,303百万円) 平成25年末完了予定件数 委託 17件 工事 19件</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>平成25年末完了額 実績額 1,604百万円中、490百万円 30.6% 平成25年末完了件数 実績件数 工事 27件中、9件 委託 19件中、12件</p> <p>漁港事業においては、新規工種に伴う計画変更及び埋立申請等の許認可に日数を要し、進捗が大幅に遅れた。又、台風による災害が3件発生したことや国の補正予算等により委託及び工事発注件数が増となり、4漁港において発注が遅れました。また、農地農用施設災害、林道災害が発生し8月から12月にかけて査定対応を行いました。年度末後半には、国の補正予算獲得に向けての取組を行いました。 平成25年度 国の補正による額 260百万円</p>
	3. 評 価	△
		<p>早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行ったが、新規着手工種の許認可事務及び10月の台風24号による災害査定、合併施行協議等の事務処理に時間を要し4漁港において、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。</p>
	4. 今 後 の 展 開	<p>未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。また、補正予算分につきましても、早期着手を目指します。</p>